

# オンライン・コミュニケーション スマホが苦手な人は？

第13回 一緒に考えよう！  
「いつまでも松が丘で暮らすために」

小林義一・岩本哲夫

## I : オンライン・コミュニケーション の実際

## この3年間、コロナで面談が困難

- スマホ・パソコンを活用した『オンライン・コミュニケーション』に多くの人が参加
- その実際を報告し、もっと多くの人が楽しめるように企画



シニア間そして多世代間でのコミュニケーションを  
いかに実現してゆくかを一緒に考えましょう！

## 1. LINEを活用した 情報交換の実際

### (1) LINEグループでの情報交換

- LINEグループを作成し、メンバーを登録する
- トークで、テキスト、文書、写真、動画を共有する
- グループ全員のTV会議も開催できる
- スマホを使うので、グループ全員に情報がすぐに伝わり、「既読」が判る
- 返信や意見も簡単に全員に伝わり、議論が活発になる

# 1. LINEを活用した 情報交換の実際



## (2) スマホ情報交換グループでの活動

互いの情報提供により、スマホの使い方を学ぶ

- スピーカーフォン、Google検索、写真の撮り方等を学べた
- 自分が経験した詐欺メールの注意喚起や対処法について、議論が行え、学べた
- 全員のTV会議や画面共有も経験できた
- 写真、動画等の報告により、地域の四季折々の情報がわかり、楽しさが増えた

# 2. オンライン会の実際

## (1) 松が丘おしゃべり会(週に2回開催)

- 元自治会仲間で、松が丘から引越した人・单身者も参加
- 参加者は7名前後で、約40分間のZoomおしゃべり画面共有機能を使い、写真・図表・WEBページで説明



- 週2回のおしゃべりは、家族以外の心置きないコミュニケーションの場
- 特に单身者は、話す機会になっている

# 1. LINEを活用した 情報交換の実際

## (3) 地域活動グループでのLINE活用

地域活動をする会のコミュニケーション手段『LINEグループ』

- 会合の日程調整が、天気や参加者の都合等がリアルタイムに情報交換してスムーズに決めることができた
- 活動の写真を共有することにより、参加していない人にもリアルタイムに情報共有ができた
- 会の進め方に関する議論が活発に行われ、記録に残るために会の運営が納得して進められる

➡ 活動グループのコミュニケーション手段として非常に有効

# 2. オンライン会の実際

## (2) 女子会(月に1回開催)

- 以前の会社での同期会:コロナ前は年一度の旅行を楽しむ  
コロナ後は月一度のZoom会に変更
- 参加者は7名で、約80分間のZoomおしゃべり  
近況を順番に報告(幹事は順番制)

- 各々生活環境や地域が異なり、新しい見聞が広がった
- 遠距離でもできる新しい試みへの挑戦(一冊の本の回遊)
- Zoom会という適度な距離感から、気楽に「ここだけの話」的な話が出る

### 3. オンライン飲み会の実際

#### (1)山の会(2, 3ヶ月に一度オンライン飲み会開催)

●約10年間、年に4, 5回、八ヶ岳・尾瀬・赤城山・谷川岳・那須岳・高尾山などの登山を車や電車で行っていたが、コロナのためにZoomで開催(18回WEB開催)

●参加者は12名前後(子供や女性も含む)で、約2時間、お酒を飲みながら自由に懇談(幹事は岩本が担当)



- 会長が元社長で、若い人を含めた多様なメンバーとの交流は楽しい
- それぞれの近況がわかり楽しい



### 3. オンライン飲み会の実際

#### (2)大学同期の忘年会(年に1回)

●毎年、東京で忘年会を開催していたが、コロナのためにZoomでオンライン忘年会を開催するようになった

●参加者は10名前後で、約2時間、お酒を飲みながら近況を順番に報告(幹事は順番制)



- 同じテーブルで歓談できない寂しさはあるが、近況が聞け懇親は可能
- 移動に要する時間などが省略できる



## Ⅱ:スマホ利用が苦手な人との オンライン・コミュニケーション

## 新兵器・TV電話！

#### (1)スマホ利用が苦手の人への通話

離れたところに暮らすシニアの中にはスマホが苦手な人がいる

- 使い方を覚えても、すぐに忘れてしまう
- 指の乾きのためにタッチ操作がスムーズいかない
- スマホの小さな画面は見づらい



- 大きな画面のTV電話端末  
(アマゾンのEcho Show)
- タッチ操作が不要(音声操作)
- 端末の値段:1万円~1万5千円  
(ただし、WiFi環境が必要)

## TV電話の実際

### (2) スマホからTV電話端末への通話

- 「呼びかけ」を使うことにより、  
TV電話端末では何も操作せずにTV電話ができる



スマホ画面  
(TV電話端末の  
カメラ映像を表示)



TV電話端末画面  
(スマホのカメラ映像  
を表示)



## TV電話の実際

### (3) TV電話端末からスマホへの通話

- 「アレクサ ○○さんへ 連絡」と喋るだけでTV電話ができる  
(タッチ操作は不要)



TV電話端末画面



スマホ画面



## TV電話の実際

### (4) 実際に使ってみて

- スマホ利用が苦手の人でも、TV電話はできるようになった
- 大きな画面で相手の顔を見ながら話をするのは安心！
- 定期的に、相互の連絡を実施している

## Ⅲ：多世代間での コミュニケーション

# 1. シニア間のコミュニケーション

- オンライン・コミュニケーションは、シニアにとってハードルは高いが、対面に比べて、手軽で会話の頻度が増す
- 移動が困難になったシニアが、コミュニケーションを維持するためには、オンライン・コミュニケーション体制は必需品
- オンライン・コミュニケーションをサポートする体制が必要
  - ▶教え合う
  - ▶困ったときの相談

# 2. 多世代間のコミュニケーション

- そもそも多世代コミュニケーションは多くない
- オンライン・コミュニケーションでは、TV電話による孫との会話が深い
- 面識がない人通しのコミュニケーションでは、シニアの経験や知恵・知識を他の世代に伝える場が必要



それぞれの世代にとってメリットのある場とは？

## まとめ

- コロナのために多くの場でオンライン・コミュニケーションが行われた
- コロナが落ち着いても、オンライン・コミュニケーションは続くだろう  
そのためにはサポート体制が必須
- 多世代コミュニケーションを実現するためには知恵を出し、試行錯誤が大切